

2022. 9. 29

---

プレスリリース

---

## 「内外の化繊工業の動向」

2022年 上半期

平素より格別のお引き立てをいただき厚く御礼申し上げます。  
このたび、当会では、標記の報告書をまとめましたので、その「概要」をお届けします。  
ご高覧下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

日本化学繊維協会

(お問合せ先 業務調査グループ TEL 03-3241-2313)

## 概 要 (2022 年上半期)

2022 年上半期（1～6 月）は、新型コロナ禍による各種の行動制限が解除されたことで、経済再開の動きが進み、繊維/化繊産業はおおむね回復基調で推移した。その一方、ウクライナ情勢を受けた原油価格の高止まり、円安進行による粗原料価格の高騰、エネルギー・運輸コスト増、上海でのロックダウンによる中国経済の減速、半導体不足による自動車減産などの影響を受けた。

こうした中、繊維需要は、末端の衣料需要は回復傾向がみられた。非衣料需要では、自動車生産の減産継続により、自動車関連の繊維需要は落ち込んだ。住宅着工や公共工事受注などはおおむね堅調に推移したことで、インテリア、産業資材関連の需要は全般的に堅調に推移した。

### 国 内

- 1) 衣料用：2022 年上半期の百貨店/量販店の衣料品売上は回復基調となった。特に、第 2 四半期以降、行動制限解除に伴い、旅行、外出機会が増えたことで、ファッション分野の衣料需要は回復している。  
家庭・インテリア用：新規住宅着工件数は 2021 年以降、プラス成長に持ち直し、インテリア需要は回復傾向となった。新型コロナ禍で需要が伸長したマスク、除菌シート等の家庭・生活資材用途の需要は一服、おむつ関連需要は生産・輸出の落ち込みから減少となった。  
産業資材用：自動車生産は 2022 年上半期に 2 桁減となったこともあり、自動車用繊維需要は全体として不振が続いた。一方、土木資材用、建築資材用は堅調となった。
- 2) 繊維工業の生産活動は、2021 年以降、新型コロナ禍の落ち込みからは、一進一退を繰り返しながら回復傾向で推移してきた。2022 年第 2 四半期の生産指数は、繊維工業全体では 79.9 と前年同期（79.7）とほぼ横ばいの水準。そのうち、化学繊維を含む繊維は 82.1 と前年同期（80.9）に比べ 1.2 ポイント上昇したものの、2021 年第 3 四半期以降下落している。

繊維需要関連の各種指標

(前年比増減：%)

	百貨店 衣料品売上	量販店 衣料品売上	自動車 生産	新規住 宅着工	建築 受注
2018	-3.1	-5.3	0.4	-2.3	-0.3
2019	-4.0	-7.1	0.5	-4.0	2.9
2020	-31.1	-16.9	-16.7	-9.9	-5.1
2021	2.3	3.5	-2.7	5.0	2.0
2022 1～3月	5.9	-1.4	-13.3	1.6	1.4
2022 4～6月	31.1	8.6	-14.7		5.9

繊維工業の段階別生産指数

(2015=100)

	繊維工業 全体	繊維	織物	染色整理	繊維製品 粗製品
2021年 第1四半期	78.9	77.7	80.0	85.9	76.2
2021年 第2四半期	79.7	80.9	80.5	86.9	74.6
2021年 第3四半期	81.7	86.1	82.5	89.1	73.0
2021年 第4四半期	81.4	85.4	83.8	86.8	73.1
2022年 第1四半期	82.4	84.9	85.2	86.4	74.9
2022年 第2四半期	79.9	82.1	84.4	85.1	71.4

3) 繊維品輸出は、ドルベースで38.3億ドル・前年同期比(以下同じ)0.6%増、一方、円ベースで4,705億円・14.7%増と円安の影響から2桁増となった。

形態別(円ベース)では、繊維原料566億円・22.3%増、糸類585億円・9.3%増、織物1,235億円・20.7%増、二次製品他2,319億円・11.4%増。上半期の輸出は、数量が微増にとどまったものの、円安、原料価格高騰の影響もあり、比較的高い伸びとなった。

仕向地別(円ベース)では、全体の26%のシェアを占める中国が7.7%増の1,217億円。韓国(10.4%増)、台湾(9.8%増)、香港(9.5%増)はいずれも増加した。アセアン地域は、ベトナム(9.9%増)、タイ(2.3%増)、インドネシア(17.9%増)が増加、全体で10.6%増の1,096億円、シェアは23%となった。米州は30.6%増、欧州は23.9%増といずれも大幅に増加した。

4) 繊維品輸入は、ドルベースで 167.9 億ドル・前年同期比（以下同じ）1.3%減、一方円ベースは 2 兆 580 億円・12.4%増。

形態別（円ベース）では、繊維原料 458 億円・56.9%増、糸類 735 億円・43.6%増、織物 746 億円・29.4%増、円安、原料高騰の影響から大幅増となった。二次製品他 1 兆 8,640 億円。二次製品は全体で 10.1%増、そのうち、主力の衣類は 9.3%増となった。

仕出地別では、全体の 55%を占める中国が 13.7%増の 1 兆 1,232 億円。中国の輸入シェアは前年同期より 1 ポイント上昇した。韓国（0.6%減）、台湾（23.4%増）となった。アセアン地域は、ベトナム（10.9%増）、インドネシア（10.1%増）、タイ（8.2%増）が増加、全体で 5.9%増となった。ただし、シェアは前年同期から 2 ポイント下落の 28%となった。欧州（14.0%増）、米州（33.0%増）はいずれも大幅増となった。

#### 繊維品輸出・輸入実績

項目	単位	2021年	2021年 1～6月	2022年 1～6月	前年比(%)
輸出	千ドル	7,840,917	3,802,152	3,825,444	0.6
計	百万円	862,416	410,211	470,463	14.7
繊維原料	百万円	96,813	46,283	56,588	22.3
糸類	百万円	111,842	53,531	58,528	9.3
織物類	百万円	218,914	102,298	123,466	20.7
二次製品他	百万円	434,847	208,100	231,881	11.4
輸入	千ドル	35,479,056	17,012,507	16,785,401	-1.3
計	百万円	3,896,460	1,830,522	2,057,970	12.4
繊維原料	百万円	60,116	29,210	45,841	56.9
糸類	百万円	108,242	51,179	73,472	43.6
織物類	百万円	122,713	57,656	74,635	29.4
二次製品他	百万円	3,605,388	1,692,477	1,864,022	10.1
(うち衣類)	百万円	(2,832,818)	(1,316,341)	(1,438,175)	9.3
輸出レート	円/ドル	110.0	107.9	123.0	14.0
輸入レート	円/ドル	109.8	107.6	122.6	13.9

(出所) 財務省

5) 2022 年上半期の化繊生産は前年同期比 2.8%増の 38.3 万トンとなった。うちセルロース繊維は同 1.5%増の 7.9 万トン、合繊は同 3.2%増の 30.4 万トンであった。

合繊生産を品種別にみると、ナイロン F は同 7.7%増の 3.6 万トン、ポリエステル F は同 1.2%増の 4.9 万トン、同 S は同 3.0%減の 3.9 万トン、アクリル S は同 2.4%増の 4.9 万トンとなった。

6 月末在庫は前年同期比 18.7%増の 10.3 万トンとなった。うちセルロース繊維は同 6.3%増の 2.7 万トン、合繊は同 23.8%増の 7.6 万トンとなった。

化繊輸出（繊維原料～二次製品）は前年同期比 2.3%増の 23.9 万トンとなった。

形態別は、繊維原料は同 0.8%減の 8.5 万トン、糸類は同 1.1%減の 5.1 万トン、織物類（面積ベース）は同 11.0%増の 2.75 億㎡、二次製品は同 6.0%増の 6.3 万トンであった。

品種別は、セルロースSは前年同期比 0.8%増、ナイロンFは同 1.0%減、ポリエステルFは同 20.6%減、ポリエステルSは同 0.9%減、アクリルSは同 0.3%増となった。化繊不織布は同 0.3%減の 3.1 万トンとなった。

化繊輸入（繊維原料～二次製品）は前年同期比 2.1%増の 73.6 万トン。

形態別は、繊維原料は同 2.4%増の 5.2 万トン、糸類は同 6.3%増の 10.8 万トン、織物類（面積ベース）は同 11.8%増の 3.07 億㎡、二次製品は同 0.8%増の 51.4 万トン、そのうち衣類は同 2.1%増の 19.6 万トンとなった。

品種別は、セルロースSは同 3.8%増、ナイロンFは同 4.9%増、ポリエステルFは同 5.7%増、同Sは同 3.4%減となった。化繊不織布は同 3.3%減の 12.3 万トンとなった。

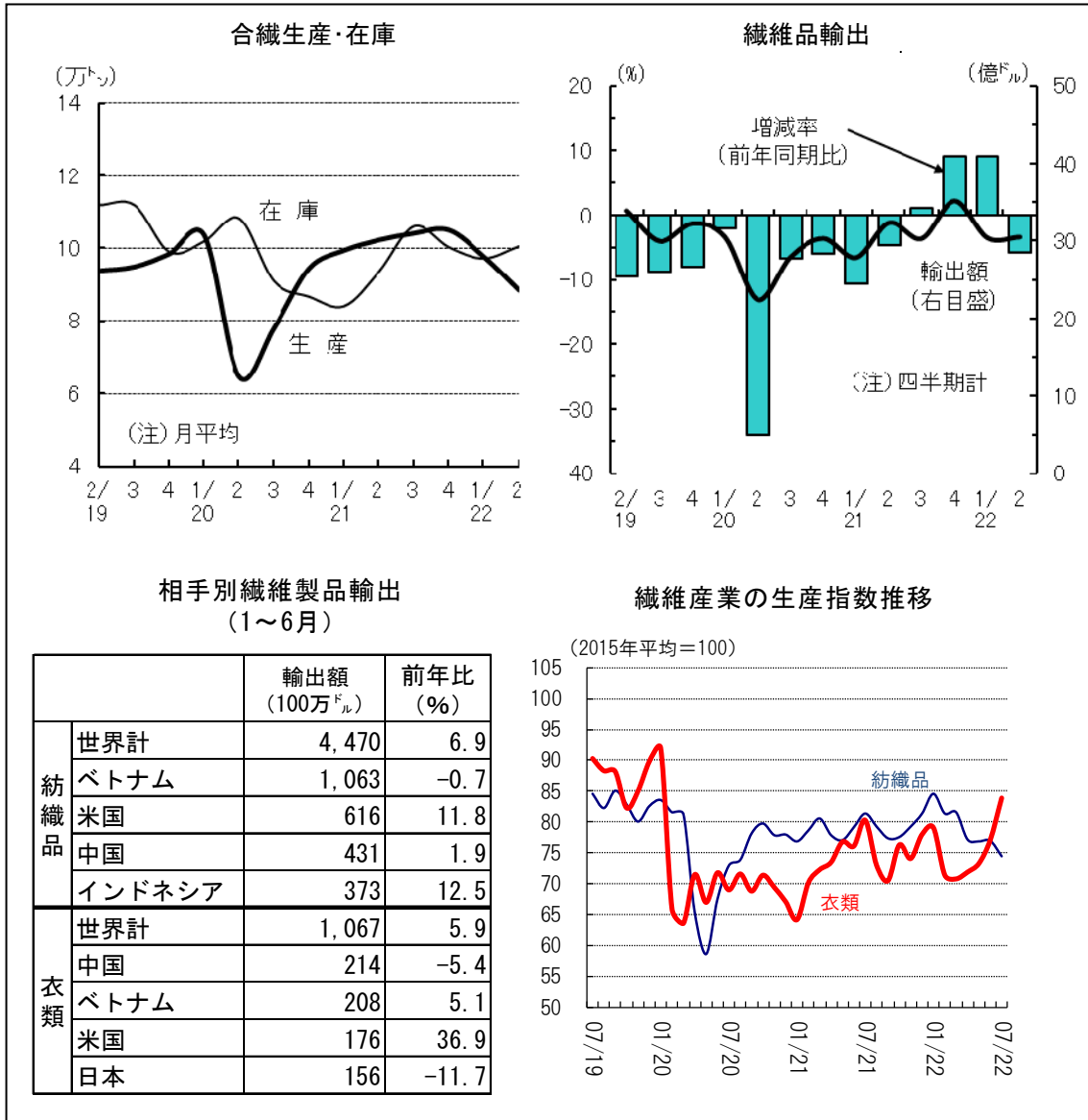
### 化学繊維の主要指標

項目	単位	2021年	2021年 1～6月	2022年 1～6月	前年比(%)
化繊生産	トン	749,153	372,512	383,054	2.8
セルロース	〃	149,268	78,070	79,207	1.5
合 織	〃	599,885	294,442	303,847	3.2
期末化繊在庫	〃	92,991	86,628	102,841	18.7
セルロース	〃	26,070	25,353	26,958	6.3
合 織	〃	66,921	61,275	75,883	23.8
化繊輸出	トン	475,705	234,183	239,487	2.3
	1000ドル	4,695,709	2,263,708	2,323,293	2.6
	百万円	516,616	244,198	285,538	16.9
繊維原料	トン	169,627	85,204	84,527	-0.8
糸 類	〃	102,870	51,496	50,939	-1.1
織物類	百万㎡	514,645	247,347	274,625	11.0
二次製品	トン	124,863	59,750	63,357	6.0
化繊輸入	トン	1,577,153	720,628	735,546	2.1
	1000ドル	16,007,354	6,828,869	7,136,976	4.5
	百万円	1,761,718	734,432	874,014	19.0
繊維原料	トン	97,296	50,733	51,962	2.4
糸 類	〃	200,333	101,298	107,651	6.3
織物類	百万㎡	568,660	274,432	306,819	11.8
二次製品他	トン	1,159,512	510,394	514,307	0.8
(うち衣類)	〃	509,638	191,668	195,723	2.1

(出所) 経済産業省、財務省

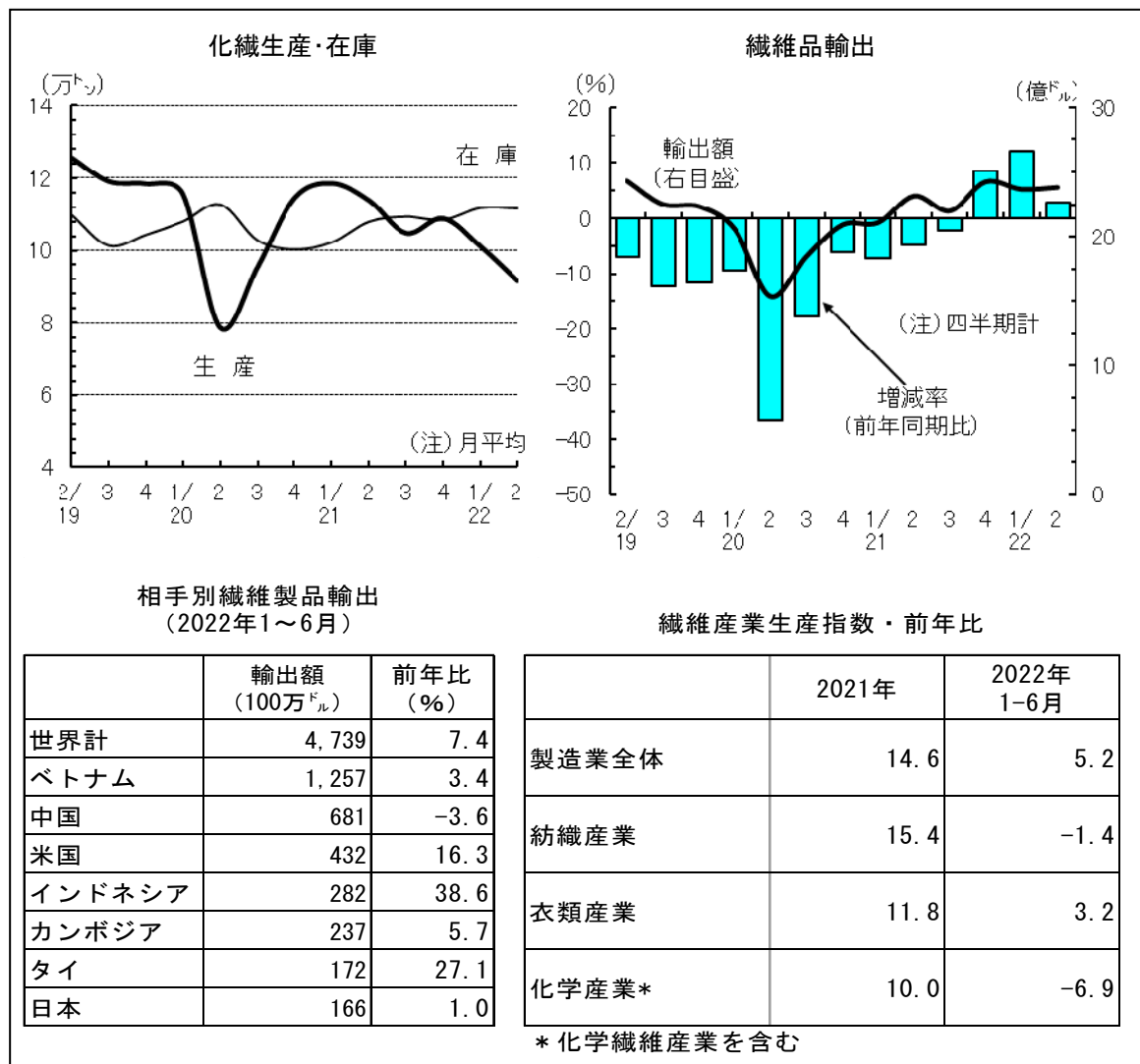
(注) 1. 在庫は生産者在庫で各期末 2. 化繊輸出入の計には化繊くずを含む

(6) 韓国



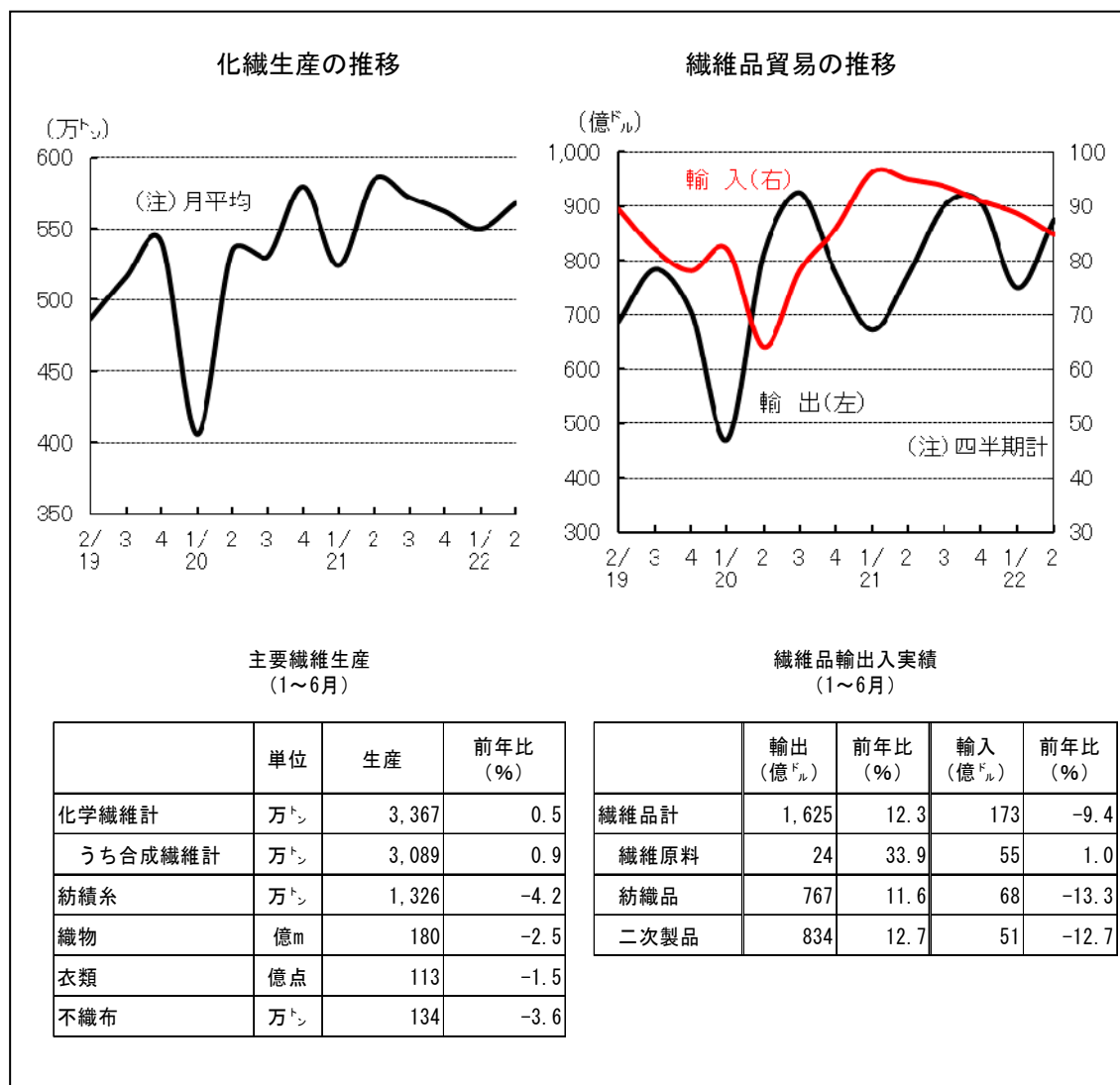
- ◆2022年上半期の合繊生産は減少、繊維品輸出は第2四半期に減少に転じた。
- ◆2022年上半期(1-6月)の合繊生産は前年同期比7.7%減の55.8万トンとなった。四半期ベースでは、1-3月が同1.7%減であったが、4-6月は同13.5%減の2桁減に落ち込んだ。上半期の主要合繊の生産は、ナイロンFは同37.3%減、ポリエステルFは同3.3%減、ポリエステルSは同27.2%減といずれも輸出減もあり減産となった一方、アクリルSは同45.6%増となった。
- ◆2022年上半期の繊維品輸出は前年同期比1.1%増の60.9億ドルと回復傾向が続いている。1~6月の繊維製品輸出を相手別にみると、紡織品はベトナム向けが微減となったが、米国、中国向けは増加した。衣類は、米国向けが大幅増となった。

(7) 台湾



- ◆2022年上半期の化繊生産は減少した一方、繊維品輸出は増加傾向が続いた。
- ◆2022年上半期の化繊生産は前年同期比17.1%減の57.7万トンとなった。四半期ベースでは第1四半期は同14.8%減、第2四半期は同19.6%減とともに2桁減となった。上半期の品種別生産の増減率をみると、ナイロンFは12.3%減、ポリエステルFは13.0%減、同Sは27.4%減となった。
- ◆2022年上半期の繊維品輸出は前年同期比7.4%増の47.4億ドルとなった。繊維品輸出を相手別にみると、最大のベトナム向けは同3.4%増、第3位の米国向けは16.3%増となったが、第2位の中国向けは3.6%減となった。
- ◆2022年上半期の生産指数は、繊維産業は減少したが衣類産業は上昇した。

(8) 中国



- ◆2022 年上半期は、新型コロナウイルスの再燃に伴う期中のロックダウンや経済制限の影響により、生産、消費など国内指標が鈍化、下落した。
- ◆2022 年上半期の繊維産業は大幅に鈍化した。繊維業界の工業増価値（GDP に相当）の伸び率は 0.9%と前年同期の 9.6%から大きく鈍化した。
- ◆2022 年上半期の化繊生産は前年同期比 0.5%増の 3,367 万トの微増にとどまった。うち合繊は同 0.9%増の 3,089 万トとなった。紡績糸生産は同 4.2%減の 1,326 万ト、織物生産は同 1.5%減の 180 億m、衣類生産は同 1.5%減の 113 億点といずれも減少した。不織布生産は同 3.6%減の 134 万トとなった。
- ◆2022 年上半期の繊維品輸出は前年同期比 12.3%増の 1,625 億ドル、うち、繊維原料は同 33.9%増の 24 億ドル、紡織品は同 11.6%増の 767 億ドル、衣類等二次製品は同 12.7%増の 834 億ドルとなった。紡織品、衣類とも海外経済の再開に伴う需要回復から 2 桁増となった。繊維品輸入は同 9.4%減の 173 億ドルとなった。



繊維業界の主要指標  
(1～6月)

	単位	指標	前年比 (%)
紡織産業売上額	億元	12,490	4.7
衣類産業売上額	億元	6,885	4.5
化繊産業売上額	億元	5,367	10.6
紡織産業利益額	億元	426	-5.3
衣類産業利益額	億元	307	4.0
化繊産業利益額	億元	164	-51.2
紡織産業実際投資	前年比	-	11.9
衣類産業実際投資	前年比	-	33.8
化繊産業実際投資	前年比	-	31.9

社会小売財消費総額  
(1～6月)

	単位	数値	前年比 (%)
商品売上総額	億元	210,432	-0.7
うち服装類	億元	6,282	-6.5

繊維関連物消費者物価指数  
(1～6月)

	前年同期比 (%)
消費者価格指数・全製品	1.7
消費者価格指数・衣類等	0.5

- ◆繊維産業の主要経営指標は、紡織産業、衣類産業、化繊産業の売上はそれぞれ前年同期比 4.7%増、4.5%増、10.6%増と増加傾向が続いている。利益額は、紡織産業は 5.3%減の現役であったが衣類産業は 4.0%増となった。化繊産業は、原料高騰の影響もあり、51.2%の大幅減となった。繊維産業の投資は、各段階とも 2 桁増に回復した。
- ◆社会小売材の消費総額（服装類）は前年同期比 6.5%減と、期中の新型コロナ再燃の影響もあり減少した。オンライン販売における衣類の売上は同 2.4%増であった。衣類等の消費者物価指数は同 0.5%増となった。

## 9) 米 国

### ・輸 入

2022年の1～7月の繊維製品輸入は前年同期比29.8%増の784.0億ドルとなった。新型コロナウイルスの影響を受けない2019年同期(649.0億ドル)と比較しても20.1%増加した。

仕出地別にみると、最大仕出国の中国が25.1%増の194.1億ドルであったほか、ベトナムが34.8%増の117.2億ドル、インドが30.0%増の71.3億ドル、バングラデシュが52.9%増の59.1億ドルと主要仕出国は前年同期に続いていずれも2桁増となった。

衣類の輸入も39.1%増の589.1億ドルと大幅に増加した。仕出地別では中国が前年同期比40.0%増の127.9億ドルと大幅に増加したほか、ベトナムが35.3%増の109.1億ドル、バングラデシュが54.4%増の57.1億ドル、インドが59.4%増の37.0億ドルなど、いずれも前年同期を上回る大幅な伸び率で増加した。

#### 繊維製品輸入実績(1～7月)

(100万ドル)

繊維製品計				うち衣類			
仕出地	2021年	2022年	前年比(%)	仕出地	2021年	2022年	前年比(%)
中国	15,523	19,414	25.1	中国	9,135	12,791	40.0
ベトナム	8,698	11,722	34.8	ベトナム	8,070	10,919	35.3
インド	5,483	7,129	30.0	バングラデシュ	3,699	5,712	54.4
バングラデシュ	3,864	5,910	52.9	インド	2,318	3,695	59.4
インドネシア	2,353	3,776	60.5	インドネシア	2,137	3,413	59.7
世界	60,389	78,402	29.8	世界	42,363	58,911	39.1

(出所) 米商務省

### ・企業動向

- ・ 米商務省は台湾と韓国から輸入されるポリエステル短繊維に対する4回目のアンチダンピング(AD)サンセットレビューを開始すると発表(1/3)。本件は1999年4月にオリジナル調査が開始され、2000年5月よりAD税が賦課された。その後米国は2006年4月、2011年9月、2017年2月の3回にわたってADサンセットレビューと期限延長を実施している。
- ・ 大手合繊・化学メーカーINVISTAはFlint Hills Resourcesのポリプロピレン事業を買収した。両社はエネルギーコングロマリットKoch Industriesの傘下。今回の買収対象はテキサス州HoustonおよびLongviewの工場である。
- ・ 大手アパレルNational Safety Apparel(NSA)はカンサス州に本拠を置くKing Louieを買収した。King Louieはアパレルを米国内で生産することで知られ、NSAは2018年に米国内で生産するRubin Brothersの買収に続いて米国内の生産能力向上や雇用拡大を図ったとされている。NSAは安全服や軍服を手掛けており、軍需産業でも採用されている。
- ・ 特殊材料を手掛けるAvientはオランダ大手化学メーカーRoyal DSMとの間で

子会社の DSM Protective Materials の買収契約を締結したと発表。買収対象には超高分子量ポリエチレン Dyneema 事業が含まれる。買収額は 14.85 億ドル。

- ・ 国際産業ファブリック協会（IFAI：Industrial Fabrics Association International）は名称を先端繊維協会（ATA：Advanced Textiles Association）へ変更。6/1 より。
- ・ 米国税関国境保護局（CBP）は 2021 年末に成立した中国新疆ウイグル自治区が関与する製品輸入を原則禁止する「ウイグル強制労働防止法」に関する輸入車向け運用ガイダンスを公表、6/21 より施行された。

## 10) 欧州

### ・輸 入

2022 年 1～6 月期の EU27 域外繊維製品輸入は、前年比 26.4%増の 683 億ユーロであった。仕出地別にみると、新型コロナウイルスの世界的な流行を受けて最大仕出国である中国からの輸入が繊維品を中心に 2020 年に急増、2021 年は反動で減少したが、2022 年は 19.6%増の 203 億ユーロと再び増加した。その他の主要仕出国・地域であるバングラデシュ（107 億ユーロ、58.7%増）、トルコ（89 億ユーロ、29.1%増）、ASEAN（75 億ユーロ、7.1%増）はいずれも 2020 年同期を底として 2 年連続で増加した。

最大仕出国である中国の域外輸入全体に占める割合は前年同期の 31.5%から 29.8%へ、ASEAN も 12.9%から 11.0%へ低下した。一方で、バングラデシュが 12.5%から 15.7%、トルコが 12.8%から 13.1%に上昇した。

EU27の域外繊維製品輸入（2022年1～6月期）

(100万ユーロ、%)

国・地域	2019	2020	2021	2022	前年比
世界計	55,341	60,410	54,017	68,270	26.4
中国	15,470	27,338	17,005	20,333	19.6
バングラデシュ	7,877	6,214	6,739	10,694	58.7
トルコ	6,520	5,367	6,919	8,936	29.1
ASEAN	6,036	5,619	6,993	7,486	7.1
ベトナム	1,696	1,700	1,811	2,343	29.4
カンボジア	1,487	1,161	1,016	1,567	54.2
ミャンマー	825	840	706	1,065	50.8
マレーシア	584	678	2,020	869	-57.0
インドネシア	795	654	671	843	25.6
タイ	458	424	622	602	-3.2
インド	3,637	2,635	3,223	4,493	39.4
モロッコ	1,463	927	1,226	1,600	30.5
英国	3,461	2,824	1,808	1,515	-16.2
チュニジア	1,187	955	1,085	1,327	22.2
米国	780	731	758	897	18.3
スイス	921	748	724	792	9.3
韓国	572	514	504	717	42.1
エジプト	445	332	369	540	46.1
日本	432	391	393	485	23.2

(出所) Eurostat

(注)EU 域内に英国を含まない。

#### ・ 企業動向

- ・ 独化学メーカーBASFは仏Chalampéにヘキサメチレンジアミンのプラントを新設すると発表。生産開始は2024年の予定で、新工場稼働後のBASFにおけるヘキサメチレンジアミン生産能力は、全体で年産26万トとなる。
- ・ 伊高級ファッションブランドのDolce&Gabbanaは、2022年以降すべての商品において動物の毛皮使用をやめることを発表、今後はエコファーを用いた商品やリサイクル可能な素材を使用している。
- ・ タイの大手PETメーカーIndorama Ventures Public CompanyはチェコのPETプラスチックリサイクル業者UCY Polymersを買収、買収額は680万ユーロ（約8.8億円）であったと発表した。
- ・ スウェーデンの繊維リサイクラーRenewcellは同社の100%リサイクル溶解パルプ由来のセルロース繊維の需要拡大に伴い、同社Ortviken工場の生産能力を年産6万トから12万トに倍増する計画を明らかにした。同社は更に、年間生産能力を36万トに拡大させる目標を当初の2030年から2025年に前倒ししている。
- ・ ポルトガルのパルプメーカーAltriは、計画中のバイオ繊維工場におけるエンジニアリングや設計業務をスウェーデンのエネギー、インフラ分野の設計コンサルティング会社Afryに委託すると発表した。
- ・ オーストリアの大手セルロース繊維メーカーLenzingは2021年業績についてグループ全体で前年比34.4%増の21.9億ユーロと発表。原料価格の上昇を需要好調により価格転嫁が進んだほか、新型コロナウイルスのワクチン接種が浸透したことで小売が回復傾向にあるためとしている。
- ・ 欧州繊維産業連盟(EURATEX)は2020年に開始した繊維製品をアップサイクルしてビジネスとするプロジェクトReHubs(European Textile Recycling Hubs)の進捗と今後の方針を公表した。EURATEXによるとReHubは2022年6月、2030年までに廃棄繊維製品の繊維to繊維リサイクルを達成するための基礎調査(TES: ReHubs Techno Economic Master Study)が完了したとしている。TESによると、欧州の繊維リサイクル産業は2030年までに約1.5万人の雇用、35~45億ユーロの経済的、社会的、環境的利益を創出する可能性があるとされている。

## 合繊4品種需要実績(2022年1～6月)

### I. ポリエステルフィラメント需要実績

(単位:トン、%)

		2022年1～6月 実績	対前期比	対前年同期比
国内 需要	衣料用 (加工品輸出用含む。)	41,586	106.9	109.8
	非衣料用 (加工品輸出用含む。)	74,164	103.5	103.6
	計 (輸入)	115,750 (68,479)	104.7 (109.2)	105.7 (105.7)
輸出 (原糸、加工糸)		1,183	54.3	46.9
需要計		116,933	103.7	104.4
在庫		8,903	99.7	112.0

(注)国内需要の( )内数値は輸入量

### II. ポリエステルステーブル需要実績

(単位:トン、%)

		2022年1～6月 実績	対前期比	対前年同期比
国内 需要	紡績用 (加工品輸出用含む)	8,835	92.4	98.0
	非紡績用 (加工品輸出用含む)	57,821	99.3	92.3
	計 (輸入)	66,655 (34,356)	98.3 (108.0)	98.7 (109.3)
輸出 (ステーブル・トウ・トップ)		3,488	116.4	82.1
需要計		70,142	99.1	97.7
在庫		13,814	118.2	110.9

(注)国内需要の( )内数値は輸入量

### III. ナイロンフィラメント需要実績

(単位:トン、%)

		2022年1～6月 実績	対前期比	対前年同期比
国内 需要	衣料用 (加工品輸出用含む。)	7,850	97.4	101.0
	非衣料用 (加工品輸出用含む。)	28,128	104.0	101.1
	計 (輸入)	35,978 (14,272)	102.5 (113.4)	101.1 (104.9)
輸出 (原糸、加工糸)		11,840	109.4	97.0
需要計		47,817	104.1	100.1
在庫		10,913	115.8	162.2

(注)国内需要の( )内数値は輸入量

### IV. アクリルステーブル需要実績

(単位:トン、%)

		2022年1～6月 実績	対前期比	対前年同期比
国内 需要	衣料用 (加工品輸出用含む。)	12,325	167.2	85.1
	非衣料用 (加工品輸出用含む。)	3,287	129.1	110.5
	計 (輸入)	15,612 (595)	157.4 (189.5)	89.4 (233.3)
輸出 (ステーブル・トウ・トップ)		33,538	96.4	103.4
需要計		49,150	109.9	98.5
在庫		13,750	94.0	124.3

(注)国内需要の( )内数値は輸入量